



科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)
<https://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

天文シリーズ

星座の歴史をたどる

星座の起源と消えた星座

Origin of constellations and disappeared constellations

姫路科学館 学芸・普及担当 寺北 早希

昔の人々にとって星は、周りの変化を知らせてくれる目印でした。目立つ星に名前を付けて、星の動きから、時刻や季節の移り変わりを知るといのように、星は生活に根付いたものだったのです。人はいつしか星と星を線で繋いで星座を作りました。そんな星座はどのようにして確立したのでしょうか。

■星座の始まり

まだ文字が生まれていなかった頃は、星の位置から時刻や季節を伝える術は、口伝えしかありません。分かりやすく次の世代へ伝えるために、昔の人々はイメージを膨らませ、動物や道具、人物に例えて星座を作りました。

現存する星座の起源は、紀元前 3000 年頃、古代メソポタミア文明にさかのぼります。その後、メソポタミアからギリシャへと伝えられ、星座とギリシャ神話が結びついていきました。紀元前 8 世紀に、ホメロスが作った叙事詩『オデュッセイア』や『イリアス』に、既に「おおぐま座」や「オリオン座」などの星座が登場しています。また、紀元前 3 世紀には詩人アラトスが『ファイノメナ』という星座詩を書いています。

古代ギリシャの天文学者ヒッパルコスが作った星表をもとに、2 世紀にプトレマイオスが、天文学書『アルマゲスト』に 48 個の星座を記しました(表 1)。今ではプトレマイオス 48 星座と呼ばれ、現存する星座たちの大本になっています。

表 1 プトレマイオス 48 星座

アルゴ	おおぐま	こいぬ	ペガサス
アンドロメダ	おとめ	こうま	へび
いて	おひつじ	こぐま	へびつかい
いるか	オリオン	コップ	ヘルクレス
うお	カシオペヤ	こと	ペルセウス
うさぎ	かに	さいだん	みずがめ
うしかい	からす	さそり	みなみのうお
うみへび	かんむり	さんかく	みなみのかんむり
エリダヌス	ぎょしゃ	しし	や
おうし	くじら	てんびん	やぎ
おおいぬ	ケフェウス	はくちょう	りゅう
おおかみ	ケンタウルス	ふたご	わし

■ プトレマイオス 48 星座以外の新たな星座

16 世紀から 19 世紀まで新しい星座を作るブームが巻き起こります。16 世紀になると、ヨーロッパでは大航海時代に入り、航海中に星を目印にするために天体観測が重要になったのです。17 世紀には望遠鏡が発明され、より多くの星を見ることができるようになり、プトレマイオス 48 星座以外の新たな星座がぞくぞくと生まれていきました。

■ 消えた星座たち

新しく作られた星座の多くは、次第に消えてしまいました。消えた星座の多くは、天文学者の個人的な理由で作られたものや、当時の権力者をたたえるためのものでした。代表的なものが、フランスの天文学者ラランドが作った「ねこ座」です(図1)。ラランドはパリ天文台長になった偉大な天文学者でしたが、愛猫を星座にするというなんとも個人的な理由で星座を作ってしまった。このような星座は、周りの人々には馴染まれず、いつの間にか消えてしまいました。また、イギリスの天文学者ハレーは、「チャールズのかしのき座」という星座を作りました(図2)。この星座は、1651年にクロムウェムとの戦いに敗れたイギリス国王チャールズ2世が、大きな樫の木の下に隠れて敵から逃れたという出来事をもとに作ったのですが、このような個人を褒めたたえるための星座も受け入れられずに消えてしまいました。



図1 「ねこ座」(ポーデ星図)

出展 Ian Ridpath's Star Tales

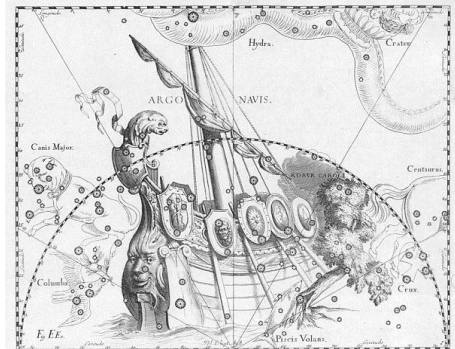


図2 「アルゴ座」になぎ倒される「チャールズのかしのき座」(ヘベリウス星図) 出典 星から宇宙へ

■ 消えた星座の名残

乱立した星座たちは、1922年に国際天文学連合によって88個に整理され、1928年に赤経、赤緯に沿って境界線が引かれました。消えてしまった星座の中には、今でもその名残のあるものがあります。「ねこ座」を作ったラランドは、自身が観測に使っていた壁面四分儀を星座に残そうとしました。この壁面四分儀座も消えてしまいましたが、三大流星群のひとつ、「しぶんぎ座流星群」として名残があります。また、ギリシャ神話に登場するアルゴ船をモチーフにした「アルゴ座」という星座がありましたが、大きすぎるという理由で、「とも座」、「りゅうこつ座」、「らしんばん座」、「ほ座」という4つの星座に分解され、今なお、夜空にアルゴ船の面影を残しています。

星座が公式に88個と決められたのは、ほんの100年ほど前です。それまでに、多くの星座が生まれ、消えていきました。夜空を見上げた時、消えた星座に思いをはせてみるのも良いかもしれませんね。